

損保ジャパンDC証券 受託資産残高2,000億円突破

～確定拠出年金分野での「お客さま評価日本一」をめざして～

損保ジャパンDC証券株式会社

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長 櫻田謙悟）の確定拠出年金専門子会社である損保ジャパンDC証券株式会社（以下「損保ジャパンDC証券」、社長 根本博）において、受託した確定拠出年金の資産残高（個人別管理資産額）が、2011年6月末時点で2,000億円を突破しました。

損保ジャパンDC証券は、プラン導入の支援から運営管理までの包括的なサービスを1社で提供する「バンドルサービス」を採用し、きめ細やかなサービスとローコストを実現した結果、おかげ様で多くのお客さまからご支持をいただき、着実に受託資産残高を伸ばしてまいりました。

I F R S の導入が検討されている中で、確定給付型年金の積立不足問題を背景に確定拠出型年金への見直し機運が高まると予想されることや、現在検討が進んでいるマッチング拠出制度等の導入により、一層の利便性の向上が見込まれることから、今後も確定拠出年金制度の普及が期待されています。

損保ジャパンと損保ジャパンDC証券は共同で確定拠出年金事業を展開しており、引き続き、システムやサービスの向上に努め、業界トップクラスの受託実績と「お客さま評価日本一」を目指します。

1. 損保ジャパンDC証券が受託した企業型・個人型確定拠出年金の受託資産残高

2,004億円（2011年6月末日現在） （注）提携金融機関からの再委託を含む

2. 損保ジャパングループの確定拠出年金事業と特色

損保ジャパングループでは、企業年金の専門家集団による確定拠出年金専門子会社である損保ジャパンDC証券を1999年5月に設立し、年金事業を展開しています。

損保ジャパンDC証券では、運用商品の情報提供などの運用関連業務から加入者の運用情報を保有する記録関連業務までのすべての機能・サービスを一元的に提供する「バンドルサービス」を採用しており、お客さま窓口の一本化を実現することで、高品質で利便性の高いサービスを低コストで提供しています。

今後も確定拠出年金へのニーズが高まる中、損保ジャパングループでは引き続き全国のお客さまに「バンドルサービス」による確定拠出年金プランを幅広くご提案していきます。

【ご参考】

○損保ジャパンDC証券株式会社

本社所在地 東京都新宿区西新宿1-25-1
代表者 取締役社長 根本 博
従業員数 110名 (2011年3月末現在)
主な事業内容 確定拠出年金運営管理業務、投資信託販売業務
資本金 30億円 (2011年3月末現在)
株主 株式会社損害保険ジャパン (出資比率100%)

確定拠出年金2011年6月末取扱実績

企業型規約承認件数	569件	(業界計 3,818件)
規約承認企業数	1,157社	(業界計 15,040社)
加入者等の人数(個人型を含む)	171千人	

(注) 提携金融機関からの再委託を含む

以上